

備前市事務事業評価シート

事業の概要			根拠法令・例規等	
事業開始年度	平成17年度～		道路法・道路構造令	
総合計画	大項目 基本目標	04 土台となる政策「安全・安心」	問	担当課(室)
	中項目 基本施策	05 安全に暮らせるまち	合	職・氏名
	小項目 施策	15 身近な安全・安心対策の充実	先	電話
事務事業名	04 交通安全施設整備事業		このシート作成に要した時間	
			2.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	道路を通行する歩行者・自転車・二輪車・自動車
目的(何のために)	市道における交通事故の減少、重大事故の軽減を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市管理の道路における交通事故件数を減少させる。

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	交通安全施設整備事業	ガードレール、カーブミラーなどの交通安全施設の新設や更新を行なう。	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	4,999	4,989	19,811
	必要人員	人	0.10人	0.31人	1,298
	必要人件費	千円	597	1,918	1,298
	事業費計	千円	5,596	6,907	21,109
財源	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
受	益	千円			
	者	千円			
	負	千円			
	担	千円			
結果指標	線	千円			
	入	千円			
	金	千円			
	價	千円			
受	益	千円			
	者	千円			
	負	千円			
	担	千円			
結果指標	比	%	5.596	6.907	21,109
	率	%	—	—	—
	比	%	—	—	—
	率	%	—	—	—

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標量	千円	597,000	1,918,000	1,298,000
	対前年比	%	—	321.3%	67.7%
	活動コスト	円	5,596,000	6,907,000	21,109,000
	単位当たりコスト	円	106.683	277.689	61.490

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
事故件数の減少率	目標値(A)	98	98	98	98
	実績値(B)	114.3	95.8	50	到達目標値
	達成率(B/A)	116.63%	97.76%	51.02%	平成28年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
市の管理する道路で発生した対前年事故回数率(前年事故回数/今年度事故回数)					

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 A
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 B
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPQ、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 B

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	25年度は歩道新設、通学路の安全対策により工事費が増額になっている。事業自体は地元要望が多いため、危険性の高い箇所から交通安全施設整備を行っていく。						

総合評価	
地元要望が多く、必要とされている事業である。事業実施により事故防止が図られていると考えられるため、今後も通学路を含め、危険性の高いところから実施していく必要のある事業である。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 A

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	地元要望が多い事業であるため、危険性の高いところから事業を進めていく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな